

原発交付金も還流か

建設会社に3年3億7140万円

元助役通じ関電幹部に

関西電力幹部らが高浜原発がある福井県高浜町の森山栄治元助役（3月に死去）から「原発マネー」が還流していた疑惑で3日、国の電源立地地域対策交付金も同町の建設会社「吉田開発」と森山氏を通じて関電幹部に還流していた疑いがあることが本紙の調べで分かりました。

↓関連の①面

疑惑の発端となった金沢国税局の税務調査では、吉田開発が「手数料」を森山氏に提供。同氏は2011年から7年間に総額約3億2000万円相当の金額を関電幹部らに手渡していたことが明らかになっています。

少なくとも3億7140万円に同交付金が充てられています。同社は16年、町立中央体育館の建設工事に関連する駐車場整備事業と擁壁改修工事の2事業を受注。擁壁

はあいまいで分からない。たぶん、いさよひとばなと話ししました。別の元幹部は「代々、あいまじに何々でやりとりはあったとていた。（贈答品が）まっ明かしました。」

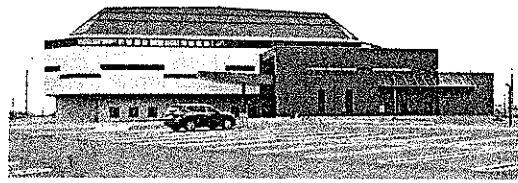
福井県幹部も受領

関西電力の役員らに福井県高浜町の森山栄治元助役（故人）から「原発マネー」が還流した疑惑で、県幹部も森山氏から長年にわたり商品券などを受領していたことが3日、関係者への取材で分かりました。森山氏は審議会の委員を務めるなど県の施策に大きな影響力を持っていたといえます。

関係者によると、商品券などの贈答品を受け取っていたのは福祉行政を担当する部署の部長や、高浜町など県南部を管轄する地域振興局の局長ら。

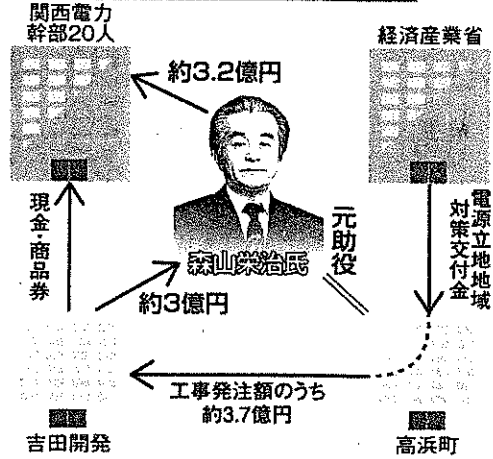
幹部らは就任あいさつなどで京都市内にある森山氏の自宅を訪れた際に受領していました。10万円相当の商品券を贈られたケースもあったといえます。

森山氏は田町へてが賃



吉田開発が駐車場整備事業などを受注し、2017年に完成した町立中央体育館＝1日、福井県高浜町

原発関連交付金還流の仕組み



元助役 約3億2000万円
 関西電力 約3億2000万円
 吉田開発 約3億7000万円
 高浜町 約3億7000万円

関係者によると、商品券などの贈答品を受け取っていたのは福祉行政を担当する部署の部長や、高浜町など県南部を管轄する地域振興局の局長ら。

幹部らは就任あいさつなどで京都市内にある森山氏の自宅を訪れた際に受領していました。10万円相当の商品券を贈られたケースもあったといえます。